



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月5日

上場会社名 東り株式会社

上場取引所 東

コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 永嶋 元博

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 松本 隆志

TEL 06-6494-6691

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	81,820	9.0	3,143	44.8	3,735	52.6	2,484	49.9
2025年3月期第3四半期	75,046	2.5	2,171	24.1	2,447	19.5	1,657	14.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,625百万円 (77.7%) 2025年3月期第3四半期 2,039百万円 (35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	42.66	
2025年3月期第3四半期	28.10	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	97,490	50,480	51.4
2025年3月期	94,063	48,377	51.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 50,125百万円 2025年3月期 48,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		5.00		16.00	21.00
2026年3月期		10.00			
2026年3月期(予想)				22.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	5.0	5,100	16.5	5,500	17.9	4,000	14.1	68.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	60,129,249 株	2025年3月期	60,129,249 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2026年3月期3Q	1,884,108 株	2025年3月期	1,883,472 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	58,245,546 株	2025年3月期3Q	58,997,194 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調となりました。一方、米国の通商政策を起点とした世界経済及び金融資本市場の動揺や拡張傾向が高まる地政学リスクなど、依然として先行き不透明な要素は払拭されません。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、インバウンド需要に対応した宿泊施設向けやオフィスリニューアル需要はもとより、住生活空間における高付加価値化のニーズは依然高く、リフォーム・リニューアル市場向け商材の開発や需要開拓は貴重な成長機会と捉えられます。一方、建設コストの高止まりや人手不足、並びに金利の上昇による住宅取得意欲の減退など、今後も楽観の許されない状況が続くものと思われます。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン＜TOLI VISION 2030＞の実現に向けた第Ⅱフェーズとして、当期より中期経営計画『SHINKA Plus ONE 2.0』を推進しております。前中期経営計画で実行した投資効果に加えて新たな成長戦略を展開する“さらなる進化への挑戦”フェーズと位置付け、3つの事業セグメント（①インテリア事業、②グローバル事業、③建材その他事業）における実行戦略、並びにその成長を支える経営基盤の強化（④バリューアップドライバー戦略）を推進し、東リグループの持続的成長を目指します。当第3四半期につきましては、前中期経営計画で実行した大型投資案件による競争力の高い新製品を発売し、投資効果を最大限に生み出すべく、各施策を推進しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高81,820百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益3,143百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益3,735百万円（前年同期比52.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,484百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

セグメントに基づく業績は、次のとおりであります。尚、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「インテリア事業」・「グローバル事業」・「建材その他事業」の3区分に改訂し、前年同期の数値についても改訂後の区分に組み替えた数値として比較を行っております。また、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<インテリア事業>

インテリア事業では、全国各地での新製品発表会に加え、大規模展示会への出展などを通じて、前期並びに当期発売の新製品を中心とする販促活動を展開いたしました。

ビニル系床材では、7月に発売したビニル床タイルの総合見本帳「タイルコレクション」やワックスメンテナンス不要の置き敷きビニル床タイル「ルースレイタイルシリーズ」が好調に推移しました。また、前期発売のビニル床シート見本帳「シートコレクションNW」の市場浸透が一層進んだことにより、ビニル系床材の売上高は前年を大幅に上回りました。

カーペットでは、10月に全点を自社内製系で構成する「GA-3600 サスティブバック」の新柄投入や、主力製品「GA-100 シリーズ」のリニューアルを行い、汎用品ナイロンタイルカーペットのラインアップを拡充し、カーペットの売上高は前年を上回りました。また、環境対応型タイルカーペットを構成するバックリング「サスティブバック」は、独自技術が生み出すリサイクルシステムに高い評価をいただき、2025年度グッドデザイン賞を受賞し、さらなる販促効果が期待されます。

壁装材では、足元の新設住宅需要が弱含みで推移する中、前期に発売した新ブランド見本帳「TOLI GRAND WALL COLLECTION(グランウォールコレクション)」や汎用ビニル壁紙「東リウォールVS」、並びに全点不燃認定壁紙「DECOPOWER」が数量ベースで引き続き好調に推移し、壁装材全体の売上高は大きく伸長しました。

ウィンドウトリートメントでは、当期に発売した「えらべるって、楽しい！」をコンセプトにした東リカーテン「fufu(フフル)」に加え、学校・医療福祉施設向けコントラクトカーテンやグループ販売会社による窓回り製品の販促活動に注力し、ウィンドウトリートメント事業全体の売上高は前年を上回りました。

これらの結果、インテリア事業の売上高は78,025百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面では、投資活動に伴う減価償却費や物流コスト・人件費などが増加したものの、ビニル系床材や壁装材を中心とした販売数量の拡大や製造原価の低減効果に加え、一部製品の上代価格改定による販売価格の底上げが進展し、セグメント利益は3,180百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

<グローバル事業>

グローバル事業におきましては、グローバル戦略商品の販促活動及び各国現地代理店との取組みに注力し、TOLIブランドのさらなる浸透に努めました。なお、海外関係会社（連結子会社2社）の2025年1月～9月までの実績を、当第3四半期連結累計期間の業績に算入しております。

中国市場では、経済の低迷が長期化する中、不動産業界においても住宅及びオフィス需要の低迷が続くなど、厳しい市場環境が続いております。中国国内の販売業務を担う東璃（上海）貿易有限公司では、新製品説明会の開催などの販促活動に注力しましたが、日系プロジェクト案件の減少や建設コストの圧縮などを背景に、販売数量は伸び悩みました。

北米市場では、関税政策の影響が懸念される中、建設投資についてもインフレや雇用環境悪化を背景に伸び悩みが続いています。2024年7月に営業を開始した米国現地法人のTOLI North America Corporationでは、エリア別代理店施策や現地在庫戦略を推進いたしました。

また、ASEAN地域、オセアニア、中東・インドにおいては、各国のマーケット事情に応じた代理店施策と販売戦略の推進、並びに新規顧客の開拓に注力いたしました。

以上のような状況の下、グローバル事業の売上高は1,762百万円（前年同期比4.5%減）となりました。利益面では、売上高の減少や物流コスト・人件費等が増加したことで、セグメント損失は180百万円（前年同期 セグメント損失148百万円）となりました。

<建材その他事業>

業際分野及び産業資材向け東リブランド製品の製造販売では、当社グループの技術力を活かした業際市場向け製品である、浴室・浴場向けビニル床シート「バスナシシリーズ」が引き続き堅調に推移しました。また、10月には、プールサイドや半屋外用途向け防滑性ビニル床シート「NS遮熱ガーデン」を新発売しました。広化東リフロア3号ライン(滋賀)による独自意匠の機能性シートとして今後の拡販に注力してまいります。一方、スポーツ市場への取り組みとして、卓球リーグ「Tリーグ」とのオフィシャルフロアマットパートナー契約に続き、カーリング練習用シート「スウィパリーシート」を発売するなど、新分野に向けた製品開発や販売チャネルの開拓が進展いたしました。

建材及び住設機器等のグループ販売会社による仕入れ販売では、新設住宅市場が低調に推移したことにより、売上高は前年を下回りました。

これらの結果、建材その他事業の売上高は3,682百万円（前年同期比4.3%増）となりました。利益面では、業際分野及び産業資材向け製品における高付加価値製品の販売が伸長したことにより、セグメント利益は143百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

<資 産>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ208百万円増加し、52,942百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ3,218百万円増加し、44,548百万円となりました。これは主に、株価上昇に伴う投資有価証券の増加、製造設備増強に伴い建物及び構築物や機械装置及び運搬具が増加したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,427百万円増加し、97,490百万円となりました。

<負 債>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ771百万円増加し、33,533百万円となりました。これは主に、決済資金需要の増加に伴う短期借入金の増加によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ552百万円増加し、13,476百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金に係る繰延税金負債の増加によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,324百万円増加し、47,010百万円となりました。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,102百万円増加し、50,480百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金及びその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年10月31日公表の業績予想数値から変更はありません。

なお、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,212	9,183
受取手形及び売掛金	19,294	16,152
電子記録債権	9,229	11,182
商品及び製品	9,854	10,404
仕掛品	2,200	2,013
原材料及び貯蔵品	2,687	2,660
その他	1,314	1,400
貸倒引当金	△59	△54
流動資産合計	52,734	52,942
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,845	8,646
機械装置及び運搬具（純額）	5,608	6,528
工具、器具及び備品（純額）	800	750
土地	8,590	8,590
建設仮勘定	3,934	3,781
その他（純額）	77	74
有形固定資産合計	26,857	28,372
無形固定資産		
ソフトウェア	410	499
その他	227	212
無形固定資産合計	638	711
投資その他の資産		
投資有価証券	8,276	10,098
その他	5,572	5,388
貸倒引当金	△15	△23
投資その他の資産合計	13,833	15,464
固定資産合計	41,329	44,548
資産合計	94,063	97,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,157	14,218
電子記録債務	7,308	8,281
短期借入金	4,050	5,080
未払法人税等	745	566
未払費用	1,818	1,906
賞与引当金	968	280
役員賞与引当金	7	—
その他	2,705	3,200
流動負債合計	32,761	33,533
固定負債		
長期借入金	5,730	5,400
繰延税金負債	505	1,142
退職給付に係る負債	3,694	3,833
その他	2,993	3,100
固定負債合計	12,924	13,476
負債合計	45,685	47,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	31,482	32,452
自己株式	△687	△688
株主資本合計	42,492	43,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,268	5,526
為替換算調整勘定	602	500
退職給付に係る調整累計額	684	636
その他の包括利益累計額合計	5,554	6,663
非支配株主持分	331	354
純資産合計	48,377	50,480
負債純資産合計	94,063	97,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	75,046	81,820
売上原価	53,418	57,493
売上総利益	21,628	24,326
販売費及び一般管理費	19,456	21,182
営業利益	2,171	3,143
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	204	280
仕入割引	56	57
持分法による投資利益	—	1
保険配当金	49	47
その他	184	305
営業外収益合計	498	701
営業外費用		
支払利息	49	97
持分法による投資損失	149	—
その他	23	13
営業外費用合計	222	110
経常利益	2,447	3,735
特別利益		
投資有価証券売却益	188	41
特別利益合計	188	41
特別損失		
固定資産除却損	23	19
特別損失合計	23	19
税金等調整前四半期純利益	2,612	3,757
法人税、住民税及び事業税	570	1,161
法人税等調整額	347	79
法人税等合計	917	1,240
四半期純利益	1,695	2,516
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,657	2,484

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,695	2,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	366	1,259
為替換算調整勘定	△23	△27
退職給付に係る調整額	△44	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△74
その他の包括利益合計	344	1,109
四半期包括利益	2,039	3,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,002	3,593
非支配株主に係る四半期包括利益	37	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,139百万円	2,295百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	グローバル 事業	建材その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,671	1,845	3,529	75,046	—	75,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,836	—	—	1,836	△1,836	—
計	71,508	1,845	3,529	76,883	△1,836	75,046
セグメント利益又は損失(△)	2,227	△148	93	2,171	—	2,171

(注)1 営業費用については、各報告セグメントに直課又は配賦しております。

2 調整額は、セグメント取引間消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	グローバル 事業	建材その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	76,376	1,762	3,682	81,820	—	81,820
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,648	—	—	1,648	△1,648	—
計	78,025	1,762	3,682	83,469	△1,648	81,820
セグメント利益又は損失(△)	3,180	△180	143	3,143	—	3,143

(注)1 営業費用については、各報告セグメントに直課又は配賦しております。

2 調整額は、セグメント取引間消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは2025年度をスタートとする中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」を策定しており、事業ポートフォリオ戦略の明確化を図るべく、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法の見直しを行っております。従来の「プロダクト事業」・「インテリア卸及び工事事業」の2区分から、「インテリア事業」・「グローバル事業」・「建材その他事業」の3区分に変更しております。また、報告セグメントの利益表示については、中期経営計画の経営管理指標に合わせて、従来の「経常利益」から「営業利益」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。